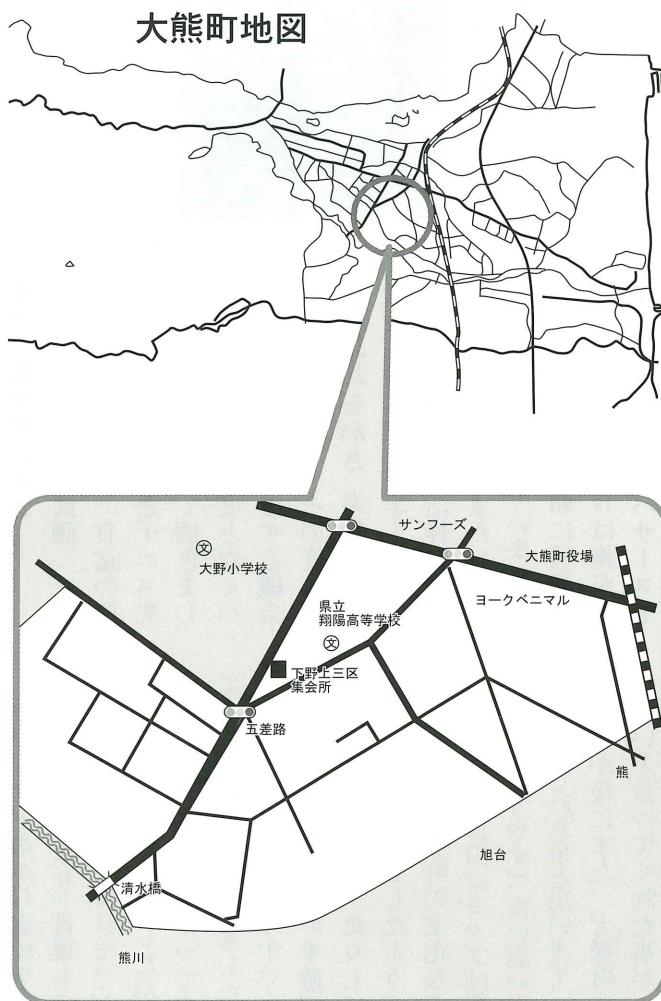


大熊町を 端から端まで ● 知りつくそう！

●第1回 下野上三区 区長 片倉 莊次



ふるさと 再発見

地区集会所を訪ねて



この地区は双葉翔陽高校を中心とした区域で畑や果樹園と振興住宅地が混在する田園風景が美しい地域です。集会所の庭には一宮神社があり、その癡祥は地区の歴史と発展に深いかかわりを持ってています。

一宮神社にお祀りされている二宮尊徳（金治郎）は江戸時代、「質素」「儉約」「勤労」を掲げ実践した農村復興の指導者であり、道徳・経済の両立を教えた経済学者でもありました。その教えは「二宮仕法」と呼ばれ、各地で農地の開墾に尽力し、冷害などに苦し

んでいた農民を復興に導きました。後に幕府に召し抱え難を逃れ家族と共に江戸から相馬藩中村に移住、明治の初期石神村で没しました。

大熊町は相馬藩であつたため、尊徳の教えはとても身近なものであり、その功績を称

えた像が相馬藩領の多くの小学校に建立されました。現在の三区が二区から分かれた当初は戸数も四十程度。この地域は水田には不適な土地で、地区の有志達はこの地に、なにか農家の手本となり、その心の拠り所となるよう守り神様を祀りたいと望みました。その頃、相馬藩士で尊徳の一番弟子で娘婿であった富田久助（高慶）が二宮仕法を広く普及させていたこともあり、二宮神社を創建するようになりました。又、神社の近くに古い家を解体した古材で集会所も建てられましたが、当時は神社も集会所も氏子だけのものでした。

神社創建二十五周年の昭和四十八年、小田原市にある報徳二宮神社（尊徳の御靈がある）にお願いし、分霊の許しを得た地区の氏子メンバーが小田原に赴き、ご神体をいただきお祀りし今に至っています。集会所も今のは二代目で、区の戸数も二百軒近くになり活動の拠点として全世帯が利用しています。

えた像が相馬藩領の多くの小学校に建立されました。現在の三区が二区から分かれた当初は戸数も四十程度。

この地域は水田には不適な土地で、地区の有志達はこの地に、なにか農家の手本となり、その心の拠り所となるよう守り神様を祀りたいと望みました。その後、相馬藩士で尊徳の一番弟子で娘婿であった富田久助（高慶）が二宮仕法を広く普及させていたこともあり、二宮神社を創建することになりました。又、神社の近くに古い家を解体した古材で集会所も建てられましたが、当時は神社も集会所も氏子だけのものでした。

神社創建二十五周年の昭和四十八年、小田原市にある報徳二宮神社（尊徳の御靈がある）にお願いし、分霊の許しを得た地区の氏子メンバーが小田原に赴き、ご神体をいただきお祀りし今に至っています。集会所も今のは二代目で、区の戸数も二百軒近くになり活動の拠点として全世帯が利用しています。

地区では役員会をもとに区の事業の推進、町行政への協力、育成会、寿会、婦人会、ボランティア団体などの活動が積極的に行われています。

主な事業

【六月】

クリーンアップ作戦

区民全戸参加で行います。

同時に、育成会、寿会と一緒に集会所周辺と五差路の花壇に花を植え環境美化推進をしています。



6月17日
クリーンアップ作戦時に
子供達と花植

【八月十三日】

納涼盆踊り大会



【十月二十一日】

二宮神社祭典

ふれあい事業

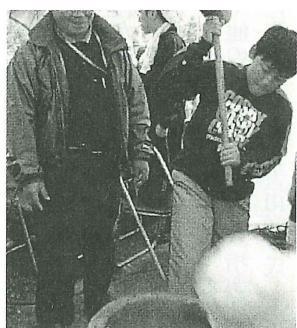


最初は氏子たちだけの祭典でしたが、三世代交流の指導があつてから全世帯対象に実施しています。餅つきは臼と杵で搗き、餡も手作り、豚汁も作ってみんなでお祝いします。

又、子どもたちは寿会の人たちと一緒に折り紙教室で遊んだり一日を家族で楽しく過ごします。



寿会
(老人クラブ)



もちつき

他に年間を通して寿会の例会、図書コーナーの開放・リサイクル活動などが有ります。

図書

コーナー（蔵書千冊以上）



防犯協会の
カーブミラー掃除



毎年賑やかさを増し、境内狭しと二百人程集まります。近年は他地区の子どもたちも混じるようになりました。

区長の片倉莊次さんは、仙台藩の片倉家に縁のある人である。
ばあ様が、戦時中飛付き観音の社に刀を奉納したこと。